

# 平成30年度 上津役中だより

平成30年4月27日

北九州市立上津役中学校

校長 森 隆

No. 1

うらかな陽光の季節となりました。保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。昨年度9月30日に、上津役中学校創立70周年記念式典と新校舎落成記念式典を合わせて行いました。昨年度、真新しい校舎や施設に加えて、新しいプール、新グラウンドも完成し、素晴らしい環境になりましたが、昨年度卒業した3年生は、グラウンド完成までの2年半の間、工事のため使う事ができませんでした。保健体育の授業も体育館や小学校のグラウンドを借りて行いました。野球部やサッカー部は八児中・沖田中のグラウンドで、ソフトテニス部は中庭のアスファルトの上で練習してきました。新入生は勿論、新2年生は2年半、新3年生は1年半の間、新品のグラウンド・体育館、美しい校舎で学校生活を送ることができます。生徒の皆さんはもちろん本校の先生方も、この時に上津役中学校という学舎で、思い切り学習できる事に感謝して過ごしたいと思います。

## 希望に満ちあふれた笑顔の入学式と心温まる対面式！！

4月10日に、第72回入学式が行われました。明るい笑顔で、新入生150名が入学しました。新入生たちは多少の不安から緊張した面持ちでしたが、保護者と共に登校してきた姿は、「これからの上津役中学校での生活を楽しみにしていて、希望に満ちあふれているような笑顔」の入学式でした。「初心、忘るべからず」と申しますが、今の希望「やる気、元気、根気」を3年間持ち続けてもらいたいと思います。

4月11日には、生徒会執行部が中心となって素晴らしい対面式を進行してくれました。部活動紹介や先生の紹介をしたり、学校生活の流れを紹介したり、様々な催し物を準備し、新入生を心温かく迎え入れました。生徒会執行部は、

昨年度3月9日の卒業式の後からこの対面式の準備を行いました。新入生に分かりやすく、全校生徒が楽しく充実した時間が過ごせるように、心を込めて準備してくれました。この陰の働きに心から感謝します。

【対面式での新1年生の入場シーン。希望に満ちて！】



【生徒会執行部による上津役中生徒会の説明！】



## 野球部公式戦、明暗を分けた初戦と二回戦、夏の勝利のために！

4月7日と8日に、「第35回全日本軟式野球大会」が若松球場で行われました。トーナメント1回戦は、折尾中学校との対戦で、10対2のコールド勝ちを収めました。香山君はランニングホームラン、安永君は走者一掃の3塁打を放ちました。今までの練習の成果を十分に発揮できた気持ちの良い勝利でした。2回戦は、実力校と評される広徳中学校との対戦でした。2対10でコールド負けという結果でしたが、末次君がランニングホームランを放つなど、最後まで諦めず頑張りました。監督の豊田先生は、「初回の6失点が大きかった。公式戦になるとどうしても過度に緊張してプレーが堅くなり、大量失点をしてしまう。精

神的に鍛えて、夏の大会に臨みたい。」とおっしゃっておられました。

これから夏の大会までの練習で、心を鍛え強い精神力で最後の夏の大会に挑んでもらいたいと思っています。

私は、毎日一生懸命真面目に練習する姿を見ているだけに、心から応援しています。頑張ってください。

【折尾中との対戦：主将手島君の力投】 →



## サッカー一部市民体育祭、全力を出し切りました！

4月15日に、市民体育祭1回戦と2回戦が、思永中学校で行われました。1回戦は、霧丘中学校と対戦しました。前半は、一進一退の攻防で0対0、緊迫した状況が続きました。後半は、スピードのある西井君をトップに上げて勝ち越しを図りました。見事作戦が効を奏し、相手を引きつけて出した保田君の絶好のパスを受け、西井君が見事相手ゴールのサイドネットにボールを突き刺しました。その後、1対1の同点に追いつかれましたが、西井君のサイドからの突破でセンターリングしたボールを保田君がゴール前で合わせてゴールを奪いました。これが決勝点となり、見事2対1で接戦を制しました。粘り強い守りからチャンスを見逃さず勝利した素晴らしいゲームでした。

2回戦の相手は、昨年新人戦の小倉北区で優勝し、九州大会出場の折尾愛真中に惜敗するほどの強豪、思永中学校でした。前半にパスをカットされ、カウンター攻撃を受けてゴールを許しました。その後、キーパーの下平君の活躍もあり、失点を許さず、0対1のまま後半を迎えましたが、失点の2点目はコーナーキックから、3点目はサイドを崩され0対3で惜敗しました。明らかに個人個人の体格とスピードに差があり、厳しい戦いでしたが、最後まで諦めない姿勢で頑張る姿には、心を打たれました。このひたむきさを生かして、夏の大会で悔いの残らない素晴らしい試合をしてくれることを信じています。

## 演劇部、人の心を大切に作る素晴らしい演技をありがとう！

4月20日（金）の放課後、多目的ホールで、在校生、昨年度の卒業生、先生方30名くらいの観客を前に、素晴らしい演劇を披露してくれました。いじめられていた女子中学生が、疫病神の力を借りて、いじめた同級生に仕返しをするストーリーでした。最初にいじめを受けた「優」役の吉井さん、いじめの仕返しをされた「叶恵」役の田中さん、そして「疫病神」役の久富さんの演技は、心情の変化を話し方や声のトーン、顔の表情などで見事に表現していました。あまりに素晴らしく、私の心は大きく揺さぶられました。そして、同級生達と先生の役をしていた部員達が劇の雰囲気を実感するものにして、見ている我々を劇の中にぐいぐいと引き込みました。最後のお互いにいじめ合った「優」と「叶恵」が仲良くなるシーンは、観客の気持ちに希望を持たせてくれ、感動しました。この演劇の脚本は、部長の中村彩愛さんが中心となって3年生が最初から作成したもので、試行錯誤しながら完成したものだそうです。また、演出をは

【素晴らしいチームワーク：演技部全員の明るい表情】



じめ照明や音響の人たちのチームワークも完璧でした。最高の演劇に感動しました。7月には、北九州市中学校演劇部合同発表会が、ウェル戸畑であります、そこで、最優秀賞を受賞できるよう頑張ってください。このチームワークの良さで、必ず受賞できることを信じています。

今年度の本校の学校経営方針を掲載させていただきます。

## 平成30年度 学校経営方針

### 1. 学校経営の基本理念

学校は教育の専門機関として、生徒一人一人の教育的な課題の達成に大きな責任を負っている。生徒を取り巻く社会は、価値観の多様化、情報化、国際化、高齢化、自然環境の悪化など、予想もつかないほど大きく変化している。このような社会の中で一人一人の生徒に「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」すなわち生きていく上で必要な「生きる力」を育むことは学校教育に課せられた使命である。

本校の教育活動を進めるにあたっては、日本国憲法、教育基本法及び学校教育法、学習指導要領、本市教育委員会の本年度の「指導の重点」の趣旨に沿うものとする。

本校は上津役中学校区に生活する子どものための学校として、地域の実態、生徒の実態、学校の歴史と伝統を踏まえ、さらに「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に沿って、保護者や地域の信頼にこたえる特色ある学校づくりを目指す。

そのためには、教師一人一人がこの社会や時代の要請を自覚して、学校経営に積極的に参画し、使命感を持って自らの力量を磨いていく。そして、生徒一人一人のために教師の情熱を具現化し、愛情をもって常にプラス思考で指導していく必要がある。また教育活動の推進にあたっては、公教育の奉仕者としての自覚のもとに、教育の中立性及び公平性を重んじ、チーム上津役中の組織の一員として協力して教育活動を展開しなければならない。

### 2. 学校教育目標

**確かな学力を身につけ、心豊かにたくましく、生きる力をもった生徒の育成**

### 3. 本年度学校経営の重点

- (1) 生徒に主体的・対話的で深い学びをさせるために、スクールプランを推進する。
- (2) 本校の組織の一員として協力して、教育活動を行う。【報告・連絡・相談・記録の徹底】

### 4. 本年度経営の具体的努力目標

- (1) 学習指導の充実【生徒一人一人の将来の進路選択を増やし、生きる力を育む。】

- ① 1時間1時間の授業において、基礎学力の向上と共に思考力・判断力・表現力を高める。
  - ・ 学び合いの基盤（時間厳守と挨拶、発表や意見の認め合い、聞く姿勢など）を徹底する。
  - ・ 「めあて」と「まとめ・振り返り」を明確にした授業を展開する。
  - ・ 生徒に興味・関心を抱かせる内容と話し方をする。生徒の思考を深める発問をする。
  - ・ 1時間の中に「話し合う活動」と「書く活動」を取り入れる。（アクティブ・ラーニング）  
→ 教え合いで、充実感や存在感を味わわせる。→ 教師同士も学びあう。【学力向上週間】  
→ 「まとめ」を考えさせ、話し合わせる。 → 思考力・判断力・表現力を高める。
- ☆ 授業にかける情熱「本当の喜びを味わわせたい」「能動的に学ばせたい」という思いが大切。
- ② 部活動の充実：情熱「勝てる喜びを味わわせたい」「ひたむきで諦めない心を育てたい」
- ③ 学年・学級経営、生徒会の充実：情熱「思いやりのある学級にしたい」「成功体験をさせたい」  
→ この情熱が生徒に伝わり、生徒指導にもつながる。
- ④ 家庭学習の充実 → 学力定着サポートシステムの活用

#### (2) 生徒指導の充実

- ① 挨拶の徹底、掃除指導の徹底、時間厳守の徹底を図る。
- ② 生徒・保護者との信頼関係を基盤とした積極的な生徒指導の推進に努め、常に危機管理意識を

もって問題行動の早期発見・早期解決に努める（定例生徒指導委員会の開催、報告・連絡・相談・記録の指導の徹底）【みんなが知っている→みんなで行く】

③ 人間的なふれ合いを基盤にした豊かな部活動の推進を目指す。（保護者との連携）

④ 生徒会執行部の指導を通して生徒会を活性化し、生徒会執行部生徒を手本に全生徒を感化する。

### (3) 豊かな心を育む教育の充実

① 豊かな体験活動を工夫し、集団生活を通して社会の一員としての自覚や人間としての生き方について自覚を深め、自他の生命や人権を尊重する心を育む。→ 道徳時間の授業の充実

② 生徒一人一人のよさを見つけて伸ばし、生徒の存在感と自尊感情を高める。

→ 人権教育研究実践サークル研究の推進【対人スキルアップ、同和問題学習、平和学習等】

### (4) 特別支援教育の推進

① 特別支援コーディネーターを中心に、全校生徒一人一人に応じた適切な指導環境を整える。

② 日常の生徒の観察と関わりによって、正確な現状把握が必要

→ 特別支援教育委員会（生徒指導委員会）で、上記の課題を分析して適切な対応策を講じる。

### (5) 自分の仕事に誇りと責任をもつ。（「小事大事」：各々が責任を果たす→組織が成り立つ）

① 自分の教科指導、学級経営、学年経営、部活動指導等生徒に直接関わる仕事に！

② 自分の校務分掌に！→責任者を中心に共通の目標イメージもつ→職員に→生徒に働きかける。

→ 生徒に直接関わることが見えない事も多いが、生徒の雰囲気が変わる。

③ スクールプランの分掌に！→「授業改善」「家庭学習」「心の育ち」→職員に→チーム上津役中学校

本校では、学力向上推進教員の松村先生が、下のような通信を出してくれています。

校舎1階の昇降口前の掲示板に貼っていますので、是非よく見て皆さんの学力向上に生かして下さい。

\*\*\*\*\*

生徒向け学力向上通信

# 学力のススメ

なぜ、学力をつけないといけないの？

現代社会は、インターネットの普及やAI（人工知能）の登場によって、急速に変化しています。あと10～20年後には、今ある職業の47%がコンピューターにとって変わられるといわれています。そして、人間は、単純作業ではない仕事をするようになります。そのため、人間は、**主体的に取り組む力や、仲間と協力して問題を解決していく力、創造力**などが求められるようになっていきます。

上津役中では、生徒1人1人の学ぶ力を伸ばせるよう、**先生、生徒みんなでよりよい授業を作り上げます。**

**入学、進級 おめでとうございます。**

いよいよ新学期が始まりました。さて、上津役中では、生徒1人1人の生きる力を保障するために、学力向上を進めています。例えば、先生たちが互いの授業を、見合っ授業力を磨いたり、朝自習に小テストを行ったりしてきました。しかし、今年度は、生徒1人1人が、さらに主体的に学習する授業を展開していくために、先生だけでなく、**生徒のみなさんも1時間の授業を大切にしていましょ**う。授業の主役は君たちです。

なんだか、遠い話で実感がわかないよ。

そんなに遠い話ではありません。社会の要請に応じて2020年から大学入試が変わります。知識だけでなく**思考力・判断力・表現力**が求められる問題が出ます。また、高校入試の問題でも**思考力・判断力・表現力**を問う**記述問題**が増えているのです。ですから、学力を向上させるとは、みなさんにとって**現実味を帯びた問題**なのです。詳しくは次回お伝えします。

（授業で頑張ること！）

- めあて**を確認し、「なぜ？」という意識を持って授業に臨むこと。
- 積極的に自分の意見を述べること。
- 話し合い活動で人の話をしっかり聞き、自分の意見を述べること
- 必ず、授業の内容を**振り返り**、次回の学習に活かすこと

次回は？

高校入試が変わった！ どんな勉強をすればいい？

\*\*\*\*\*